学校番号	2004

令和８年度　書道科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書道Ⅱ（教育出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰでの学習内容を深化、発展させ、用筆・運筆および字形や全体の構成など多様な表現技法を習得する。
・感興や意図に応じた表現効果をあげるため、習得した技法や表現形式などをどのように活用していくかについて学習する。
・作品制作により達成感を味わい、書を愛好する心情を育てる。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

1. 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身につけるようにする。
2. 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美の味わい深く捉えたりすることができるようにする。
3. 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典の学習を通して書の歴史や文化について理解し、個性豊かな表現をする為に、幅広い表現理論と技能を身につけている。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりしている。	古典の学習を通して書の文化や伝統についての理解を深めようとしている。 意欲的、主体的に表現や鑑賞活動を行い、その喜びを味わおうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字の学習	鑑賞、臨書 (篆書、隷書、草書) ・泰山刻石 ・石鼓文 ・乙瑛碑 ・曹全碑 ・書譜 各古典の美について理解し、書体、書風に即した用筆、運筆、字形の取り方を工夫して臨書する。	a: 篆、隷、草書の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現技法を身につけている。 b:古典の臨書・鑑賞を通して篆、隷、草書の美とその表現技法を学び、表現を工夫している。 c:古典の臨書・鑑賞を通して篆、隷・草書の美と、その技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 振り返りシート 提出作品
	篆刻	・篆刻 印の歴史と印の美を構成する諸要素や、表現方法、形式を理解する。 また、用具、用材や創作の手順について理解し、篆刻の仕方について学習する。 ・姓名印(二文字) 書体や書風、配字による表現の効果を理解する。 仕上がりをイメージして表現や構成を工夫する。	a:篆刻制作の手順を理解し、検字や布字、運刀に関する知識や技法を習得している。 b: 篆刻の美しさを理解し、表現を工夫している。 c:篆刻に関心をもち、主体的に取り組んでいる。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 振り返りシート 提出作品

	デザイン書	書風の構成要素 字形、線質、字配りの理解、 写真と筆文字のコラボ 仮想看板 商品のポップ 名言、漢字等 効果的、魅力的に伝えるための表現を探り、制作意図に合った作品制作を行う。	a: 書風の構成要素を理解し、物のもつイメージに合わせた表現技法を身につけている。 b:表現のねらいを達成するために、効果的、魅力的に伝えるための構成要素を工夫している。 c: 表現の構想から完成にいたるまで、意欲的・主体的に表現活動に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 振り返りシート 提出作品
	文化祭作品制作	創作 ・全紙作品(デザイン書) 題材を決め、これまでに学んだ技術や表現方法をいかした作品制作 ・半切2分の1作品 「漢字2字」 「漢字仮名交じりの書」 ～古典の特徴や技法、 用具用材を生かして～ ・色紙作品 ・Tシャツ コンクール、書道展へ出品	a: 狙いを達成するために、書体・書風や紙面構成、用具用材に関する知識・技能を適切にいかしている。 b:表現の工夫によって、多彩な書の表現が生まれることを理解し、作品にいかしている。 c: 用具用材と表現との関係に関心をもち、意欲的、主体的な表現に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 振り返りシート 提出作品
後期	漢字の書	臨書・鑑賞(楷書) ・始平公造像記 ・薦季直表 ・美人董氏墓誌銘 ・孟法師碑 書風に即した用筆、運筆を工夫して臨書する。	a: ：時代や地域の違いが作品に反映されていることを理解し、楷書の多彩な表現を比較することで用筆、運筆の技法を習得している。 b：楷書の多彩な表現を理解し、特徴をいかした表現の工夫をしている。 c:様々な楷書の美に対して興味関心の幅をもち、その美しさを味わおうとしている。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 振り返りシート 提出作品

	仮名の書	臨書･鑑賞 ･高野切第一種、二種 ･針切 ･香紙切 表現の特徴を捉え、書風に即した用筆、運筆を工夫して臨書する。 散らし書きや短冊等の形式についての理解	a: ： 仮名の基本的な線質、用筆・運筆との関係を理解し、表現技法を身につけ表現している。 b: 単体、連綿や全体の構成など日本の伝統的な書の美を感受し表現を工夫している。 c: 古筆の美とその技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 振り返りシート 提出作品
	生活の中の書	･封筒、はがき、年賀状などの基本的な書き方を理解して書く。 ･贈答用語 3体(楷･行･隷)での表現技術を習得 ･のし袋の表書きや知識	a:書が生活の中で果たしている役割を知り、書の効用を理解し、目的や用途に即して表現する技能を身につけている。 b: 字の大きさ、配列、書体など、それぞれに適した表現を工夫している。 c: 手書き文字の良さや美しさを感じ取り、意欲的・主体的に取り組もうとしている。	プリント 提出作品	提出作品	活動の様子 振り返りシート 提出作品
	漢字仮名交じりの書	創作 ～座右の銘～ 半切3分の1 漢字、仮名の古典の学習をもとに、その表現を応用した漢字仮名交じりの書の制作 表現のねらいに基づいて構想を練り、これまでに学習した書体、書風や紙面構成、用具用材に関する知識･技能を生かして、「自分自身の作品」を制作	a: 創造的な表現をするために、用具・用材・線質・字形・全体の構成などの書の美の要素を理解し、技能を身につけている。 b: 自己の表現のねらいを達成するために、自らの表現意欲を高め、用具・用材・線質・字形・全体の構成などについて工夫し表現している。 c: 表現の構想から完成にいたるまで、意欲的・主体的に表現活動に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度